

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立東備支援学校	実践者名	二宮 涼
実践場面 (教科、領域、行事等)	音楽科		
単元・題材名	DJになって盛り上げよう！		
学習目標・ねらい	・音楽をよく聴いて、曲に合わせて動いたり止まったりすることができる。 ・友達が体を動かす様子を感じ、楽しみながら再生・停止を繰り返すことで、音楽を楽しむことができる。		
対象の児童 生徒の実態	・音楽やダンスなどが好きな児童が多い。 ・キーボードの自動演奏機能で曲のテンポを操作するなど、曲の変化に興味をもっている。		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

【使用したアプリ】 YouTube、カメラ

- (1) DJ役の児童が、Youtubeのミュージックビデオを再生・一時停止の操作を行う。
ミラーリングして、教室前方のスクリーンに投影する。
- (2) 再生中は思い思いの動きをする。
(足踏み、ミュージックビデオの模倣、オリジナルの動き等、実態に応じて取り組む。)
- (3) 曲が一時停止されたら動きを止める。(ポーズをとってもよい。)
- (4) DJ役を交代しながら活動する。
- (5) 記録動画を参照しながら、ポイントに沿って振り返りをする。

<学習の様子>

▼ スクリーンに映る動画に合わせて踊る児童



▲ キーボード操作をするDJ役と
スクリーンに映る自分の姿を確認する児童

活用のポイント・改善策等

- ・活動中の児童の様子を撮影して、振り返りの際にスクリーンに映すようにする。
- ・スクリーンの動画に注目が集まりがちで、お互いの様子を感じにくかった。
→音源をキーボードの自動演奏に変更し、スクリーンには児童の活動の様子をカメラアプリでリアルタイムに撮影・投影することで、自他の動きに気づくことができるようにした。
- ・現状では操作がやや複雑である。様々な実態の児童がDJ役を楽しむことができるように、より直感的な操作で曲を変化させることができる機器やアプリなどを検討していく。